

安全性のさらなる追求 浜岡原子力発電所の安全性向上対策について

1. 設備概要

原子力安全技術研究所
(原子力研修センター内)



津波対策：改良盛土（西側）

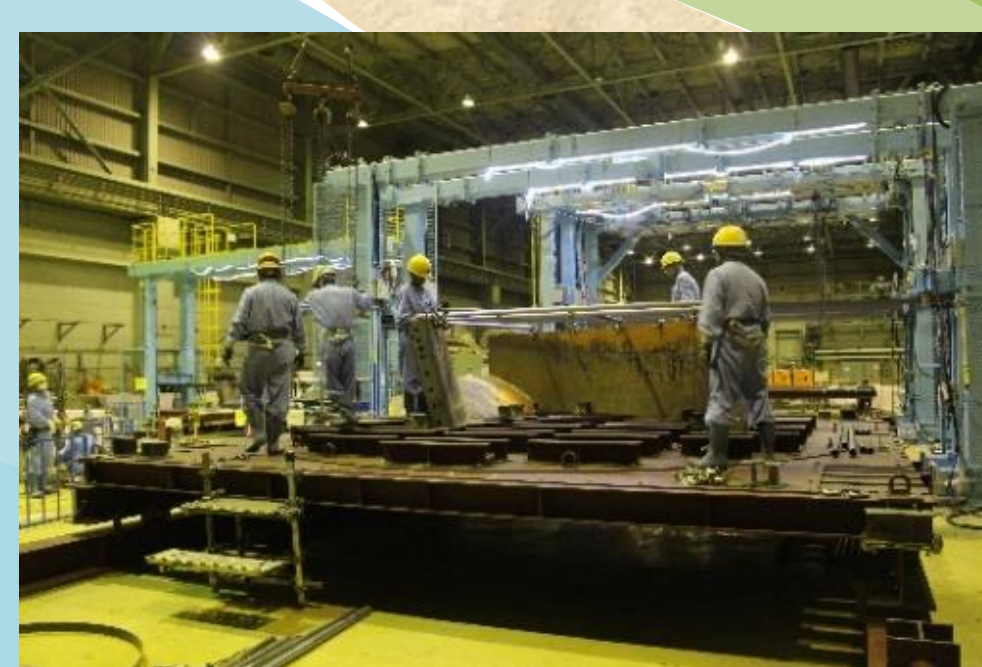


1号機(54万kW) 2号機(84万kW)

廃止措置中
(2009.1.30運転終了)

2015.2 燃料搬出 完了
現在、原子炉領域周辺設備解体中

廃止措置：建屋内での解体工事



津波対策：防波壁



津波対策：強化岸



津波対策：溢水防止壁



除熱機能強化対策
緊急時海水取水設備

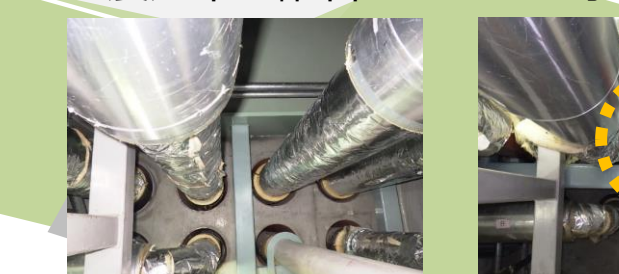


建屋内のポンプ

格納容器破損防止対策：
フィルタベント設備



地震対策：配管サポート工事



工事前 工事後

電源機能強化対策：
緊急時カスタービン発電機



注水機能強化対策：
緊急時淡水貯槽



電源機能強化対策：電源車



注水機能強化対策：
注水ポンプ車等可搬車両



津波対策：津波監視システム 海洋レーダ



送信アンテナ 受信アンテナ

3号機(110万kW) 4号機(113.7万kW)

安全性向上対策実施中

新規規制基準への適合性確認審査

2015.6.16 申請

2014.2.14 申請

2. 立地状況

所在地：静岡県 御前崎市



浜松市からは東へ約50km、静岡市の南西約50kmの距離

	浜岡原子力発電所の規模	静岡県 (富士川以西:60Hz区域)
最大電力	361.7万kW (3~5号機の総電気出力)	406.0万kW 【2016年8月9日】
年間電力 需要	220億5,700万kWh 発電電力量(震災前の3年度平均)	205億858.3万kWh 【2016年度実績】

5号機(138万kW)

安全性向上対策実施中

海水流入事象対応中

津波対策：改良盛土（東側）



▶浜岡原子力発電所では、「福島第一原子力発電所のような事故を二度と起こさない」という固い決意のもと、安全性向上対策を自主的に進めるとともに、3・4号機については新規規制基準への適合性確認審査を受けており、昨年9月に基準地震動、本年10月に基準津波が確定し、今秋からのプラント班審査の再開に向けて着実に進捗しております。また、防災体制の整備や教育・訓練の充実に努めるとともに、住民避難を含む緊急時対応の実効性向上に向けて、国・自治体との連携を一層強化しています。

▶当社は、化石燃料価格の変動や地球温暖化という課題に対処しつつ、将来にわたり安定的にエネルギーを確保していくためには、原子力発電を引き続き重要な電源として活用することが不可欠であると考えております。

▶今後も、新規規制基準への適合性確認を早期にいただけるよう最大限努力するとともに、地域みなさまにご理解と信頼をいただけるよう全力で取り組んでまいります。